

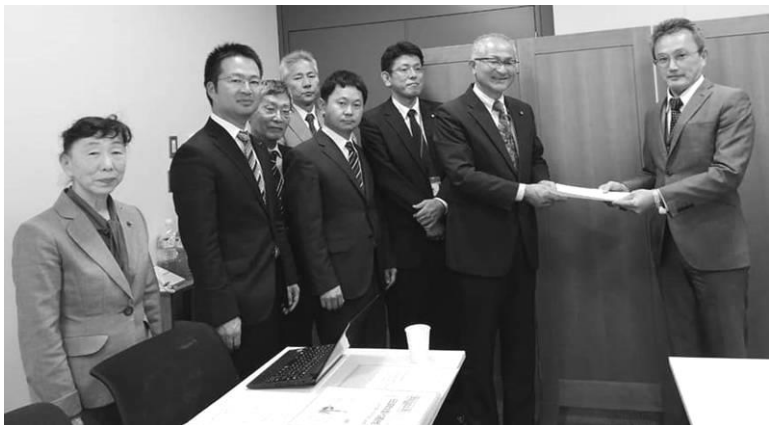
民主島根

2019年
11.24
第1348号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

原発・災害対策・教育・農業など 党県委が6省庁に政府交渉

大平前衆院議員、党地方議員ら迫る



要望書を提出する大國県議・市議団、大平前衆院議員(国会内)

日本共産党島根県委員会と大國陽介県議ら地方議員、大平喜信前衆院議員は11日、国会内で原子力規制委員会や経済産業省に中国電力島根原発2・3号機の再稼働断念などを要請しました。

参加者は▽関西電力「原発マネー」還流疑惑について全ての電力会社を政府の責任で徹底調査する▽原発事故の被害が想定される全ての自治体に対し、稼働の同意権・不同意権を保障する立法措置を講じる―ことなどを求める要望書を手渡し交渉しました。

交渉では、電力事業者の相次ぐ不正や不祥事、「原発マネー」還流疑惑―によって住民の信用が失墜するも、事業者任せで管理・監督責任を果た



三吉会頭らと懇談する大國、後藤、吉井の各氏(出雲市)

そうとしない政府の姿勢をただす意見が相次ぎました。田中肇・松江市議は、島根原発2号機の適合性審査をめぐり、中電が提出した資料のずさんさを指摘し、「審査の場では資料を作り直す」と述べ

消費増税で廃業進む恐れ 商工会議所と大國県議、後藤市議ら懇談

日本共産党の大國陽介県議、後藤由美市議、民青同盟の吉井安見県委員は12日、出雲市の出雲商工会議所を訪ね、消費税減税・廃止を求める党の「よびかけ」を届け、三吉庸善(みよし・のぶよし)会頭、糸原直彦専務理事と懇談しました。

三吉会頭は「軽減税率で確定申告の作業が大変になる。キャッシュレス決済のポイント還元もわ

べ、議会や市民には順調であるかのような説明をしている」と批判。規制に、実態の把握と審査で明らかにした問題点を住民や立地・周辺自治体に説明するよう求めました。

「国政私物化・安倍政権の退陣を
中国5県 斉宣伝・松江
尾村県議ら訴え



中国5県の日本共産党は15日に一斉宣伝に取り組みました。

松江市では、尾村利成県議、橋本祥朗、田中肇の両市議、岩田剛東部地区委員長が市内で宣伝し、「桜を見る会」に安倍首相が地元後援会員を多数

高レベル放射性廃棄物は
ふやさない、埋めない **学習会**

12月15日(日)
午前10時～正午まで

県民会館308会議室
講師 山内 靖喜さん
(島根大学名誉教授)
資料代 100円

「科学的特性マップ」と地層処分について
ぜひ一緒に考えてみませんか。

主催：原発ゼロをめざす島根の会

鼓動

紅葉が見ごろを迎える中、世間は「桜」の話題で持ちきりになっている。しんぶん赤旗のスクープと日本共産党の田村智子参院議員の追及で、国政の重大問題となった安倍首相主催の「桜を見る会」。

答弁でタジタジになった安倍首相は「中止」を決め釈明会見までおこなったが、疑惑は深まるばかりだ。▼無料でアルコールを含む飲食ができる「桜を見る会」を私物化し、閣僚や自民幹部が後援会員を多数招待。しかも、安倍首相後援会は「前夜祭」を盛大におこない、収支報告書に記載もない。予算委員会での徹底した審議が必要だ。▼政治家が自分のお金でやれば公職選挙法違反になる供応をこともあろうに税金でおこなう。安倍政権下で「桜を見る会」の支出は予算の3倍超に膨れ上がった。庶民に消費税増税を押し付ける一方でまさに究極のモラル破壊の安倍政治。こんな政治を一刻も早く終わりにしなければならぬ。

▼日本共産党は野党連合政権を大目標に、共闘の発展と日本共産党躍進への方針を打ち出した第28回党大会議案を発表した。綱領一部改定案は人類史の巨大な変化をみすえて未来社会を展望した壮大なロマンを感じさせる内容だ。みなさんと学び、語り合い、野党連合政権の実現へとりくみをすすめていきたい。▼かつて豊臣秀吉は権力を誇示するため豪華な「醍醐の花見」を開き、その5カ月後に亡くなった。権力の絶頂期から衰退へ。「桜を見る会」を「醍醐の花見」と重ねて見る人も多いようだ。「桜を見る会」で追い詰められている安倍政権を打倒し、新しい政治の花を咲かせよう。(後)